

福山市環境審議会 議事概要

1 日 時

2009年(平成21年)2月9日(月)10:00~11:40

2 場 所

福山市役所議会棟 3階 第5委員会室

3 出席委員

尾島会長,三谷副会長,石川委員,大田委員,大橋委員,迫原委員,土屋委員,
壺井委員,三吉委員,森下委員

4 議 事

(1)「福山市環境基本計画」の策定について

- ・パブリックコメントの実施結果
- ・福山市環境基本計画(案)

(2)その他

5 議事要旨

会議は公開で行われた。

事務局より,定足数を満たしていることが確認された。

事務局より,市民意見の募集結果について報告がされた後,これらについて審議が行われた。

(意見の概要)

福山市環境基本計画(素案)についての意見募集の結果について

(15[〃]-[〃] 関連)「自然観察指導者」を「自然体験指導者」としてはどうか。

当面は自然観察指導者とするが,今後は自然体験指導者の育成も検討する。

(17[〃]-[〃] 関連他)幹線道路の推進は外しても問題ないのでないか。

上位計画である第四次福山市総合計画で重点施策として定められており,現状のままとする。

(19[〃]-[〃] 関連)雨水タンクの補助等を検討してはどうか。

個別具体については,効果等を見る中で将来的に検討する。

(19[〃]-[〃] 関連)下水道区域内において浄化槽が有効な場合は,浄化槽を進めるといふことか。

市街化区域内でも認可区域としていないところは,浄化槽の補助を行うこととしている。

(28-29° -ジ 関連) 3 Rを5 Rとし, 周知してはどうか。

国や県では3 Rが一般的に使用されている。3 Rが浸透しておらず, 現段階では3 Rを啓発, 推進していきたいと考えている。

(29° -ジ 関連) 家庭ごみの有料化は市民理解が得にくいのではないか。

粗大ごみについてのみ触れているが, 処理能力や公平・公正の観点から検討する。

福山市環境基本計画(案)について

市民, 事業者, 行政の役割について

(4° -ジ) 「家庭から出るごみの量を減らすように努め, 資源回収活動へ参加しましょう。」は文章が逆ではないか。

ごみの減量は色々な手法があり, 並びとしてはこれで良いと考えている。

(5° -ジ) リデュース, リユース, リサイクルの脚注を記載すべき。

生活環境の保全, 快適環境の創造について

(22° -ジ) 「環境ホルモン」の語句説明中の「悪性腫瘍を引き起こす」は, 間違いではないか。

出典を精査する。

循環型社会の構築について

(28-29° -ジ) 「リデュース」の日本語訳として「発生抑制」は間違いではないか。「減量」, 「減少」が正しい訳である。

国, 県等でも通常使われているため, 「発生抑制」とする。

重点施策について

(46° -ジ) ごみ減量プロジェクトの期待される効果で, ごみ処理費の削減は謳い文句にする必要があるのか。

その他について

パブリックコメントの意見や修正点について, フィードバックはどのようにするのか。

ホームページ等で資料を公表する。

市民意見の数を増やすため, 市民意見募集のあり方について, 検討した方が良い。

より一層意見を吸い上げる方法について検討していく。

以上